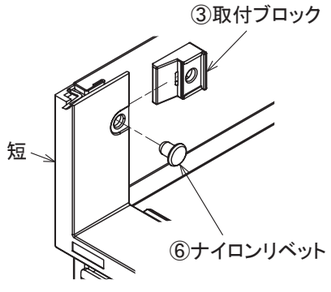
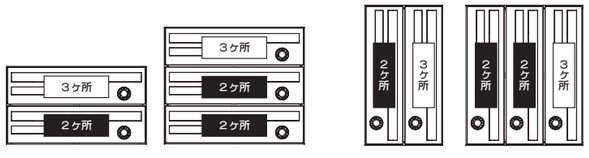
4）取付ブロックの取付（タテ型・ヨコ型）

③取付ブロックを本体とリフォーム枠の間に差し込んで
⑥ナイロンリベットを圧入します。
注）取付場所によって取付数量が異なりますので下図を参照ください。
注）**2ヶ所** の長手方向は取付ブロックを使用せず、ナイロンリベットのみ使用します。

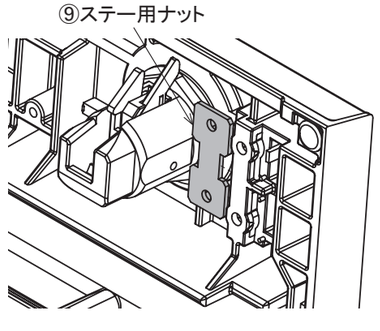




2戸用　3戸用　2戸用　3戸用

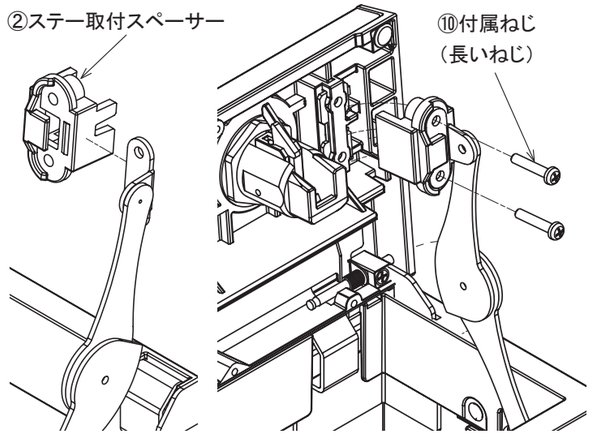
5）ステー用ナットの取付（ヨコ型のみ）

⑨ステー用ナットを錠前付近（扉端、図参照）にスライドさせて組込みます。



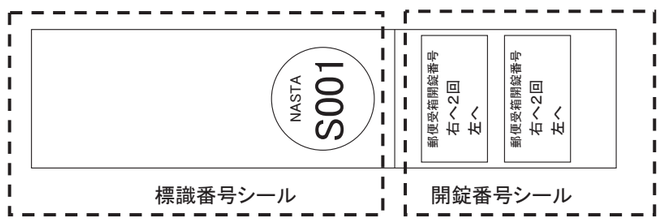
6）扉側に扉用ステーの取付（ヨコ型のみ）

扉用ステーに②ステー取付スペーサーを取付て⑩付属ねじ（長いねじ）で扉側に固定します。



7）開錠番号シールの貼付（タテ型・ヨコ型）

郵便受箱内部に貼ってある標識番号シールに重ねて新しい標識番号シールを貼り付けます。



8）取付完了後の確認（タテ型・ヨコ型）

1．開錠番号シールの開錠番号で開錠するか確認してください。
2．開錠が確認できましたら、開錠番号シールが投入口より見えるように取扱説明書を郵便受箱内部に入れてください。
3．扉及び投入口フラップ（蓋）の開閉に異常がないか確認してください。

施 工 説 明 書

工事店様用

KS-MBR301S　KS-MBRK311S

安全上の注意

ここで示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための重要な内容ですので必ず守ってください。
■ 表示内容を無視して誤った取扱い時に生じる、危害や損害の程度を次の表示で区分し説明しています。

⚠ 警　告	この表示の欄には「死亡または、重傷等を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注　意	この表示の欄には「傷害を負う可能性または、物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

⚠注意

雨水のかかる場所に設置しないでください

・屋内専用の郵便受箱です。防水仕様にはなっておりません。

ナイロンリベットの取付忘れにご注意ください

・ナイロンリベットの取付忘れ箇所が無いようにしてください。

製品の養生を行ってください

・製品取付後に内外装工事を行う場合には必ず充分な養生をしてください。

取付工事には手袋を着用してください

※おねがい事項

扉の開閉スペースが確保できない場所に設置しないでください

製品取付後に鍵の清掃を行ってください

・鍵と鍵の受け部を必ず清掃してください。

※ 本製品は既存郵便受箱の本体を使用した扉交換製品です。既存郵便受箱の取付状態により、扉の平行レベルが出ない場合があります。

● 現行郵便受箱扉の取外し

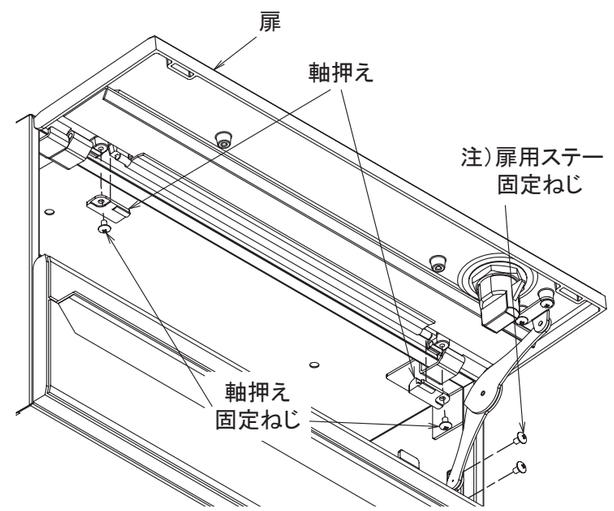
1）開錠番号を合わせ扉を開きます。

2）扉用ステーの取外

本体側の扉用ステー固定ネジを外します。
注）ナットを使用している製品があります。その場合は取外したねじとナットを取付けに使用しますので大切に保管してください。

3）扉の取外

軸押え固定ねじを外して軸押えと扉を外します。
※ 製品によってはねじ４本で固定されている場合があります。
※ 3）で外した部品は全て不要となります。

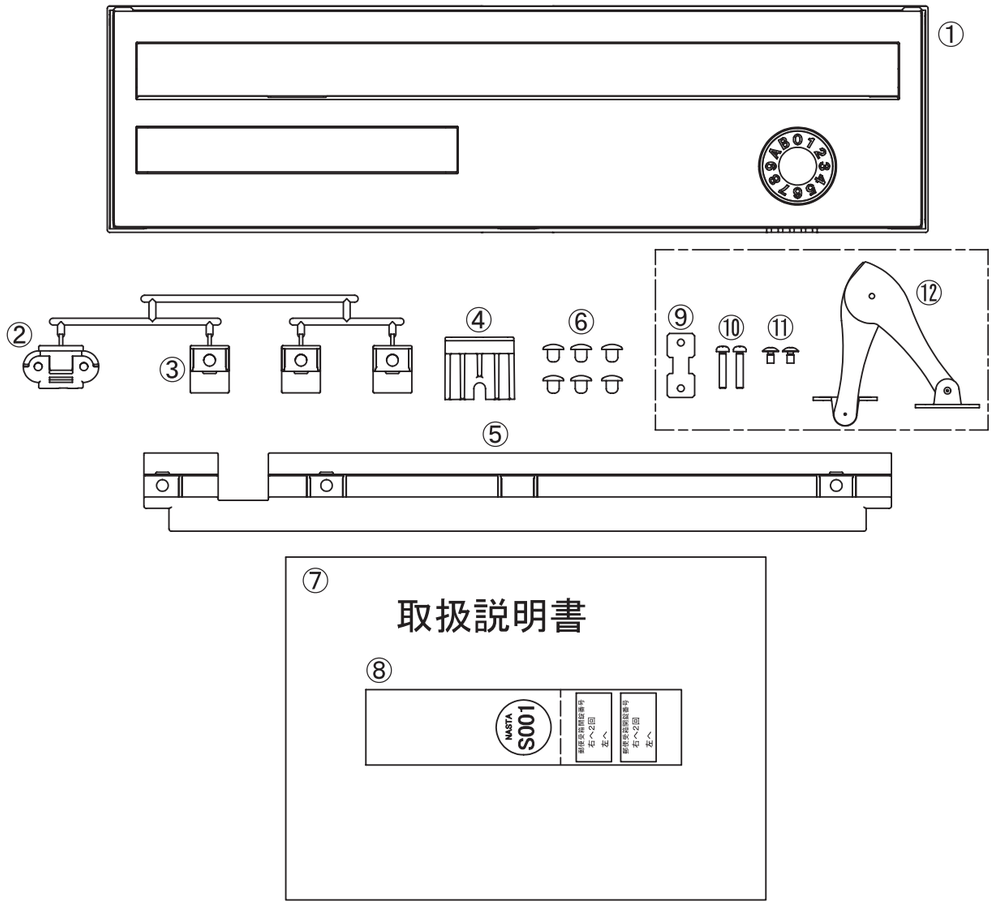


1.施工前準備

部品の確認

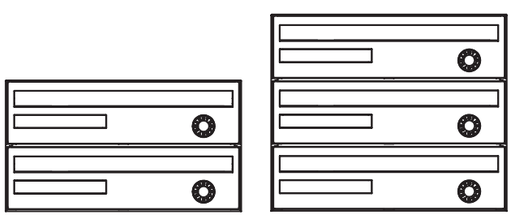
・セット内容の確認をしてください。

① リフォーム用扉 ： 1個
② ステー取付スペーサー ： 1個
③ 取付ブロック ： 3個
④ 連結ブロック ： 1個
⑤ スロープ ： 1個
⑥ ナイロンリベット ： 6本
⑦ 取扱説明書 ： 1枚
⑧ 開錠番号シール ： 1セット
⑨ ステー用ナット ： 1個
⑩ ステー取付ねじ（扉側　長いねじ）： 2本
⑪ ステー取付ねじ（本体側　短いねじ）： 2本
⑫ 扉用ステー ： 1個



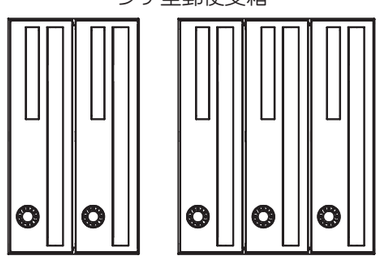
※ ②ステー取付スペーサーはタテ型郵便受箱には使用しません。
※ ⑨～⑫の部品はタテ型郵便受箱用には付属されておりません。

ヨコ型郵便受箱



2戸用　3戸用

タテ型郵便受箱



2戸用　3戸用

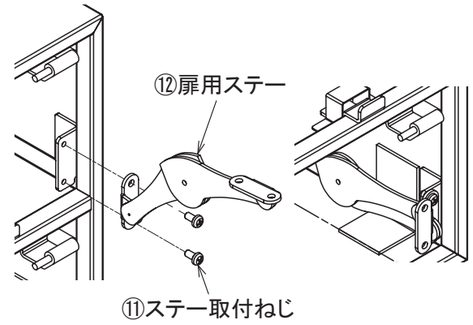
2.施工手順

● リフォーム用扉の取付

※説明中の絵はヨコ型となります。

1）扉用ステーの取付（タテ型は必要ありません）

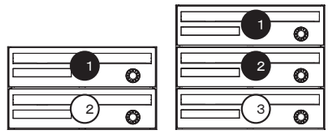
⑪ステー取付ねじで　⑫扉用ステーを取付てから
扉用ステーを本体の中に折りたたみます。
注）1ページ目の『3）扉の取外し』でナットを使用して
いた製品は、取外したねじとナットで取付けます。
注）扉用ステーの取付向きに注意してください。



2）リフォーム用扉の取付（タテ型・ヨコ型）

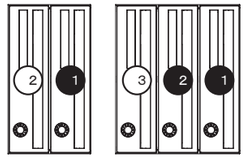
図を参照の上、取付けをする既存製品の種類を確認します。
注）種類によって取付方法や順番が異なります。

■ヨコ型



2戸用　3戸用

■タテ型



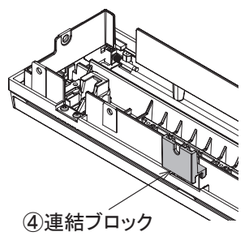
2戸用　3戸用

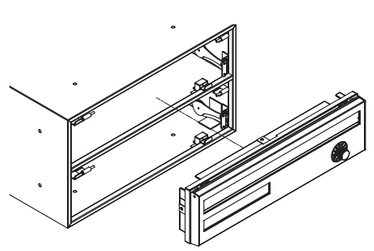
重　要

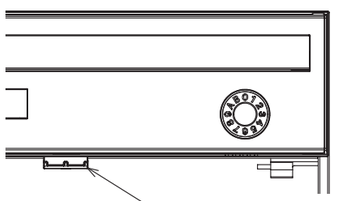
リフォーム用扉の取付けは ❶ ② 又は ❶ ❷ ③ の順番で取付けます。
順番を間違えると取付ができなくなったり、性能に影響を及ぼす場合があります。

❶ ❷ 取付の場合（タテ型・ヨコ型）

① リフォーム用扉に④連結ブロックを組込んでからリフォーム用扉を本体へ組込みます。







最初のリフォーム用扉取付後、連結ブロックが図のように見えます。この連結ブロックに重ねるように次のリフォーム用扉を組込みます。

② ③ 取付の場合（タテ型・ヨコ型）

① リフォーム用扉を本体に組込みます。
注）連結ブロックは使用しません。

ポイント

❶ のリフォーム用扉取付後、3）スロープの取付以降に進んでください。
ただし、リフォーム用扉の取付は上記の順番通りに進めてください。

3）スロープの取付（タテ型・ヨコ型）

本体内部から⑤スロープを本体とリフォーム枠の間に
差し込んで⑥ナイロンリベットをドライバーの柄など
固いもので圧入します。（3ケ所）